

7月レース 帆走指示書

共同主催 富貴クラブ 衣浦ヨットクラブ 碧南ヨットクラブ

1、 適用規則

セーリング競技規則(RRS) 2021-2024 及び本帆走指示書とする。

2、 責任の所在

- (1) 艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇が十分に艀装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り組ませるようにしなければならない。
オーナーは船体、スパー、リギン、セールおよび全ての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それ等の使用法と置場所を乗組員に熟知させておかなければならない。
- (2) 乗組員は、自己の責任において自身の安全を確保し、落水等のないよう努め、かつ艇と乗組員の安全の確保に努めなければならない。乗組員は、荒天の海にも耐え得る精神力と体力を養い、かつ操艇または作業ができるよう技術を磨き、また全ての装備および安全備品の使用方法と置場所を熟知するよう努めなければならない。
- (3) 何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各乗組員の責任のみで決定される。
- (4) レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。
- (5) 参加艇や乗組員の事故(死亡、傷害、沈没、破損等)および第三者に与えた損害については主催団体は如何なる責任も負わない。

3、 レース日程

2024年7月6日(土) 予告信号 23時55分

4、 コース

スタート(矢作ブイ付近) ⇒ 生田鼻ブイ ⇒ 三河大島(時計回り) ⇒ 生田鼻ブイ ⇒ フィニッシュ(矢作ブイ付近)

- <注> ・往路、復路共に生田鼻ブイの南側を航行すること。
・三河大島周辺の浅瀬には十分注意して航行すること。

※三河大島をトップで回航する艇はフィニッシュ本部艇へ連絡ください。

5、 本部艇

スタート:アンリファルマン(ハルの色:青色)黄色回転灯を点灯する。 連絡先:090-8488-9676(伊藤)
フィニッシュ:くんてる(ハルの色:白色)KYCクラブ旗を、掲揚する。 連絡先:090-8159-6121(杉浦)

6、 スタート

(1) 信号

信号	旗の音響信号	スタート信号までの時間
予告	提灯1灯を点灯 : 音響1声	5分
準備	提灯2灯を点灯 : 音響1声	4分
1分前	提灯1灯を点灯 : 音響1声	1分
スタート	提灯を消灯 : 音響1声	0分

(2) スターティングラインは、矢作ブイ付近に設置する。

スタートポートの端となる本部艇の黄色回転灯を点灯したポールと、ポートの端となる矢作ブイとの間とし、本部艇を右に見てスタートする。

スタートラインはスタート信号10分後に消滅し、スタートできなかった艇はDNSとする。

(3) スタートのペナルティはRRS30.1を適用する。

7、 個別のリコール

リコール艇があった場合は、音響信号1声を発し提灯1灯を点滅する。

点滅の時間は全てのリコール艇がスタートライン、またはその延長線のプレスタート・サイト`に完全に入るまで、あるいはスタート信号後の5分間とする。

8、 ゼネラルコール
スタート信号時に、スタートラインのコースサイド^{*}にいる艇、もしくはRRS30. 1の適用を受ける艇を特定できない場合、又はスタートの手順に誤りがあった場合、音響信号2声を発し提灯2灯を点滅する。(5分程度)
新しいスタートの予告信号は、再スタートの予告信号1分前に音響信号1声を発し、提灯2灯を点灯(10秒程度)する。

9、 フィニッシュ
フィニッシュラインはポートの端となる矢作ブイとスターポートの端となる本部艇に掲揚したブルー旗との間とする。

10、 コース短縮
コース短縮の場合は生田鼻ブイ付近をフィニッシュとする。(帰路)

※コース短縮時のフィニッシュライン

フィニッシュラインは生田鼻ブイと本部艇に掲揚したS旗との間とする。

コース短縮時も通常時も生田鼻ブイの南側を航行してください。

11、 タイムリミット
タイムリミットは、2024年7月7日(日)12時までとする。それ以前にフィニッシュ出来なかった艇はDNFとする。

12、 抗議
本レース委員会は、抗議を受け付けない。

13、 失格に代わる罰則
RRS 第2章の規則違反については、失格に代わる罰則として、(720° 回転)の罰則が適用される。

14、 レース旗
1) レース参加艇はレース旗または各クラブ旗を予告信号からレース終了まで、もしくは棄権するまで艇体に掲揚すること。
2) レースを棄権した艇は、直ちにレース旗又は各クラブ旗を降ろし、速やかにフィニッシュ本部艇に報告しなければならない。

15、 レース艇の義務
1)乗組員はライフジャケットを着用すること。
2)棄権した艇またはタイムリミットに掛かった艇は、フィニッシュ本部艇へ速やかに報告しなければならない。

16、 レース委員会(レース本部)の所在
レース委員長 山内 厚 連絡先:090-4080-9567
レース副委員長 竹内 計人

参考 エンジンの使用

落水者救助、遭難艇(船舶)救助、衝突回避、その他の緊急事態に対処するためにエンジンを使用することが出来る。但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的、時間、場所等)についてフィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。

漁船、その他一般動力船との出会いでは、衝突回避が最優先です。微風時、視界不良時には、エンジン使用が衝突回避に有効な場合があります。無用なトラブルを避けるため遠慮なく活用しましょう。

※衣浦合同レース特別規定

レース参加艇で、レース中にレース続行不可能になった場合は、本部艇に連絡し、助けが必要な時はセールを降ろしてレース旗をマストに掲揚し、(掲揚不可能な場合はアピールのみ)近くにいるレース艇にアピールしてください。発見したレース艇は、ただちにレースを中断し、該当艇に接近し、状況を本部艇に連絡してください。レース終了後、レースを中断した時刻と、復帰した時刻を本部艇に連絡してください。